

# せいわMAP

## ツリーデッキ

自分の力で上まで登っていき、視点が変わることにより様々な発想が生まれます。  
東京の木（多摩産材）でできています。

## 砂場

つちのじかんで、土の違いを知った4歳児。水にといてみて「この土はどろどろ」「こっちはさらさら」と場所によって感触が変わることに気づいています。この違いを利用して自分の作りたいものによって土を使い分ける姿があります。

## つきみやま

園庭を見渡すことができ、四季の変化を存分に味わえます。つきみやまから空を眺め、雲の流れ、宇宙にも心を向けてみる、心を開放するような時間も大切にしています。

虫が沢山いる園庭。

つかまえて虫かごに入れる姿があります。虫のことを調べてみたり、虫が気持ち良く過ごせる環境を作ることが大切だと、子どもたちが虫かごの環境づくりをしています。

## エディブルガーデン 3～5歳

夏野菜を育てています。  
子どもたちは、観察日記をつけて、成長しているか、記録を始めています。  
4歳児は園で見つけたもみじの種や木の実を育てています。

塩ビパイプをつなげていた子どもたち。水道につなげると先から水が出てくることに気づき、ジョイントを変えてみると水の流れも変わること気づいています。



## とりのレストラン（4か所）

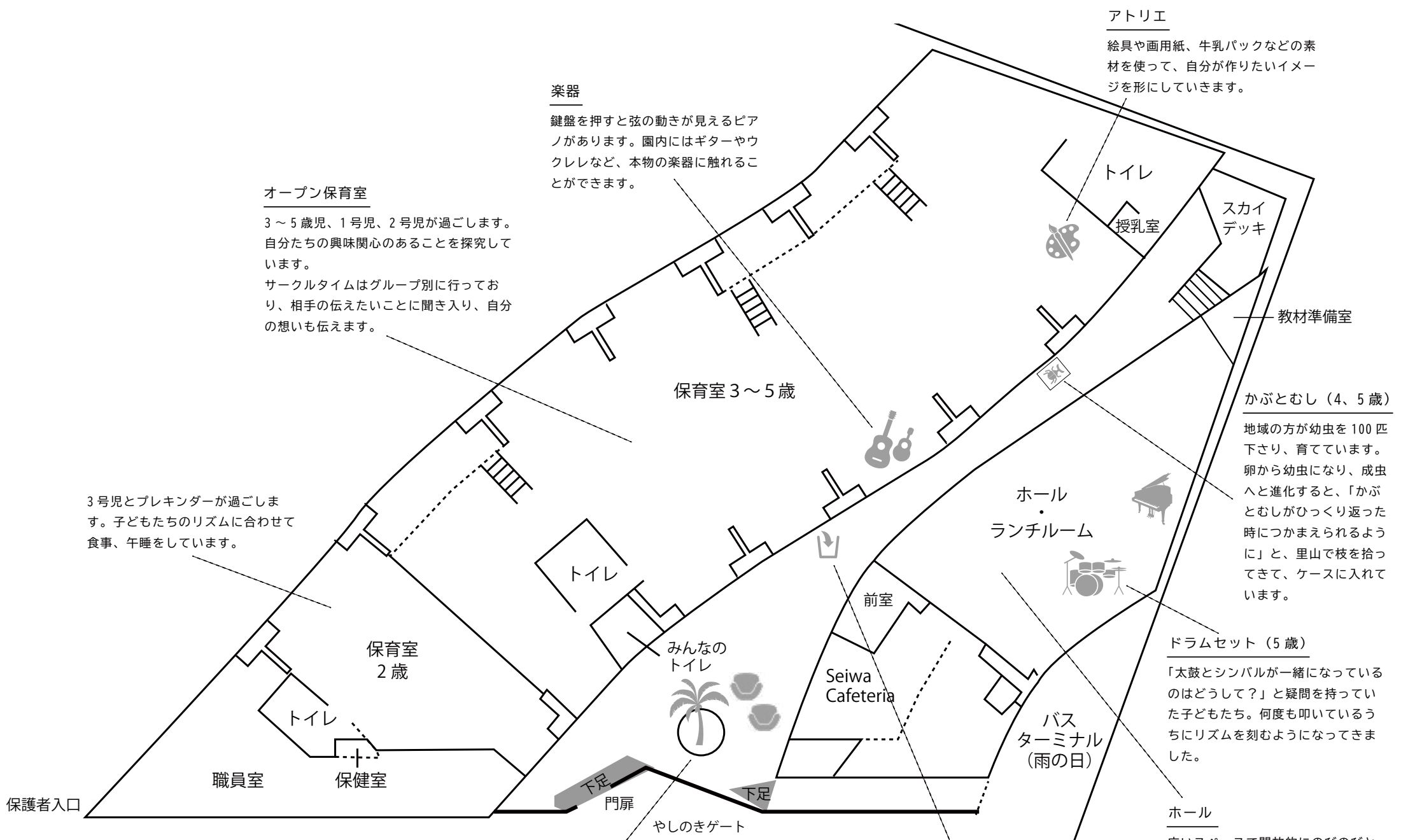
子どもたちが色を塗り、文字を書いた巣箱を木の上に設置しています。春にシジュウカラが卵を産みに来て、2週間程度ピーピーと鳴き声が聞こえてきます。巣立った後は巣箱を掃除して翌年設置しています。

## ピザがま

地域の大学生と子どもたちが造ったピザがまです。ピザは米粉で作ります。また、子どもたちが作ったピザだけでなく、収穫した野菜を焼くこともあります。7月は七夕の笹、短冊をおたきあげしました。

## 井戸・ビオトープ

井戸水が豊富に使えるので、子どもたちもお水に沢山触れています。ビオトープでセキレイ、ヒヨドリが水浴びをして、木の実を食べたり、花のみつを吸ったりしています。井戸の水は園舎のトイレの水にも使われています。また、井戸は段差を作っているの、水の流れを見たり、水をせき止めたり、水の量が増えることあふれることを遊びの中で学んでいます。



**オープン保育室**  
 3～5歳児、1号児、2号児が過ごします。自分たちの興味関心のあることを探究しています。サークルタイムはグループ別に行っており、相手の伝えたいことに聞き入り、自分の想いも伝えます。

**楽器**  
 鍵盤を押すと弦の動きが見えるピアノがあります。園内にはギターやウクレレなど、本物の楽器に触れることができます。

**アトリエ**  
 絵具や画用紙、牛乳パックなどの素材を使って、自分が作りたいイメージを形にしていきます。

3号児とプレキンダーが過ごします。子どもたちのリズムに合わせて食事、午睡をしています。

保育室 3～5歳

**かぶとむし (4, 5歳)**  
 地域の方が幼虫を100匹下さり、育てています。卵から幼虫になり、成虫へと進化すると、「かぶとむしがひっくり返った時につかまえられるように」と、里山で枝を拾ってきて、ケースに入れています。

ホール・ランチルーム

**ドラムセット (5歳)**  
 「太鼓とシンバルが一緒になっているのはどうして？」と疑問を持っていた子どもたち。何度も叩いているうちにリズムを刻むようになってきました。

保育室 2歳  
 職員室  
 保健室

前室  
 Seiwa Cafeteria

バスターミナル (雨の日)

**ホール**  
 広いスペースで開放的にのびのびと体を動かすなどして活動しています。給食の時間はランチルームとなります。自分のお腹が空いてきたら給食を取りに行きます。

保護者入口

**アーケード**  
 アーケードには大きなソファがあります。ここでくつろいでいるとキッチンからいいにおいがきて、「今日の給食は何か？」と期待が膨らみます。ここでサークルタイムをしたり、こどもヨガ、表現活動なども行っています。

**コンポスト**  
 おはなのじかんでアレンジした花が枯れた時や、給食の野菜の皮むきを手伝って出た野菜くずを「コンポストに入れよう」と子どもたちから声があがります。土になったものをエディブルガーデンにまいたり、種を育てる時に使ったりといのちの循環を感じます。

やしのきゲート

下足  
 門扉

みんなのトイレ

トイレ

トイレ

授乳室

スカイデッキ

教材準備室